

令和4年度（希望ヶ丘高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
① 法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規程の徹底）	教育公務員として、教育の専門家としての自覚、意識を高め、信用失墜行為を防止する。	10月と3月の不祥事防止会議で、教育公務員としての高い倫理観を保持して業務に当たることを確認した。11月に開催した事故不祥事防止研修において服務規律の遵守をテーマに協議した。公務員として、職務に専念して、服務規律を遵守することを確認した。目標を達成した。
② 職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	ハラスメント行為について、職員が認識を共有し、同僚性の醸成を図ることで不祥事を未然に防止する。	2月と3月の不祥事防止研修会で職場のハラスメントの防止及び風通しの良い職場づくりについて研修した。自分の価値観や意見を一方的に押し付けることがないように、また、同僚に対する思いやりを持った言動をすることを確認した。目標を達成した。
③ 生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりが生徒の人権を意識し、生徒の人権を守るための取組を図るとともに組織的な取組を通して、わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	6月の不祥事防止研修会で児童・生徒にたいするわいせつ・セクハラ行為の防止について研修した。生徒指導、部活動等については、必ず複数の教職員で対応していることを確認した。目標を達成した。
④ 体罰、不適切な指導の防止	体罰、不適切な指導について職員が認識を共有し、不祥事を未然に防止する。	9月の不祥事防止研修会において、啓発・点検資料を用いて各自点検するとともにアンガーマネジメントを学んだ。体罰・不適切な指導の案件0で、目標を達成した。
⑤ 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	マニュアルに基づき点検体制を再確認し、確実に業務を行い、事故を未然に防止する。	7月と2月の不祥事防止研修会において、成績処理及び入学者選抜の事故防止をテーマにして、過去の事例から学ぶことをした。気が付いたことは必ず情報共有し管理職に伝えるなど、重要項目について点検を行った。入学者選抜、成績処理等適切に実施できた。
⑥ 個人情報等の管理・情報セキュリティ対策	個人情報の取扱いには細心の注意を払い、流出や紛失を防止する。	5月と11月の不祥事防止研修会において、個人情報の取扱いと情報セキュリティについて研修した。特に電子メールの送信やUSBの管理について質疑応答をして理解を深めることができた。情報の漏洩の件数0で、目標を達成した。
⑦ 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	教育公務員としての自覚を持ち、交通法規遵守の徹底、酒酔い・酒気帯び運転の根絶を図る。	1月の不祥事防止研修会において、交通事故発生の未然防止及び酒酔い、酒気帯び運転の根絶に向けて意識を高めた。
⑧ 財務事務等の適正執行	会計の執行において、適切な手続きと処理に努める。	12月の不祥事防止研修会において、適切な私費会計の取扱いについて研修をした。今年度の財務事務調査指導結果を共有して、改善策の確認をした。目標を達成した。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

令和4年度の本校の達成状況は、特に重大な事故不祥事もなく良好であったと考えている。本年度も不祥事防止研修等を通じて不祥事ゼロに向けた指導を徹底させた。各自自己点検をすること、また気にかかることは速やかに報告することを徹底し、プログラムの各課題の目標を達成することができた。職員主体による研修スタイルに変更したことにより、情報共有及び知識理解を深め、管理職共々風通しのよい職場環境を目指している。

令和5年度も生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止、財務事務等の適正執行、個人情報の管理を重点課題として、不祥事防止研修等で職員の事故防止意識の啓発を行い、日常の指導助言を通じて当事者意識を高めさせていきたい。